

4 特殊教育諸学校の例
(1) 評価表例 (〇〇養護学校)

総合評価			
教職員の共通理解に基づく児童生徒へのかかわり、個別の指導計画による授業と作成・活用に当たって保護者との連携が図られた。生活体験の拡充・保護者との連携の強化を評価する意見が多いことが各種アンケートより伺われ、今年度の取組には一定の成果が認められる。 新たに展開している地域の教育センターの役割のあり方に関して、さらに体制を確立していく必要がある。			
成果と課題	A	B	C
個別の指導計画に基づいた授業が行われ、保護者の75%が「授業内容は適正である」と評価した。授業内容を個別の指導計画を見直しながらさらに授業改善につなげていく必要がある。			
改善策・向上策	個別の指導計画を立てる際に必要な児童生徒の全体像のとらえ方に関して、「相関表」の内容を今年の形式もとに類型別に検討し、児童生徒の実態を的確に把握できるようにする。 個別の指導計画の見直しを学期ごとに引き続き行う。		

学校教育目標	重点目標(中・長期的目標)
明るく たくましく より豊かに生きていく児童生徒に育てる	1 体力・身体機能の向上と基礎基本の定着を図る 2 地域に開かれた学校を築く
	今年度の重点目標
	1 保護者の参画のもとでの個別の指導計画の作成と評価
	2 児童生徒のもの・人・出来事へのかかわりの拡充
	3 公開授業・教育相談等を通じた地域への発信

成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
各部の実態に応じて年間〇時間の授業が行われた。保護者との連携も懇談会を通して深めることができた。	32	12	6	学校週5日制に伴う授業時数の確保を図るため、行事の意義を再確認し、必要に応じて精選して通常の授業時間数が〇時間以上確保できる方策を検討する。 保護者との連携を図る懇談会を、今年度の回数以上に実施できるように日程調整を行う。
教育課程を編成するための各部の検討会を学期ごと2回行った。個々のニーズに応じて学習グループを編成する意識がさらに深まった。	28	20	4	個に応じた教育課程の編成を3つ以上の先進校の例を参考にして研究することで、よりきめの細かい教育活動の実現を目指す。 全校で小中高の12年間を見据えた教育課程の検討の機会を年2回設定する。

領域	対象	評価項目	評価の観点
教育活動	教育課程	1 実態に応じた教育課程の編成と適切な授業時数の確保	・年間〇〇時間以上の適正な授業時数の確保がなされたか。 ・実態に応じた教育課程の編成に関して、年度末に保護者との連携を図ることができたか。
		2 知肢併置校開設に向けた教育課程の検討	・平成〇年度の開校に向け、新しい教育課程の検討を進めることができたか。
		3 個別の指導計画をもとにした授業の推進	・個別の指導計画の見直しを学期ごとに行ったか。 ・保護者の80%以上が授業内容を「適正である」と評価したか。
教育活動	学習指導	2 修学旅行の充実	・修学旅行の目的地選定に関して児童生徒、保護者、関係者との検討会を〇回以上設けたか。参加した児童生徒の80%以上が満足したか。
		3 地域への発信	・文化祭や授業参観、学校開放など教育活動を理解してもらう機会を学期ごとに設けているか。
学校運営	地域との連携	3 特別支援教育相談の推進	・広報活動を学期に□回以上行い、〇件以上の教育相談を行うことができたか。
		1 個別の指導計画をもとにした授業づくりの研修	・個別の指導計画をもとにした年3回の授業研修会の実施により、個に応じた指導に対する認識が深まったか。

(2) 評価個票例 (〇〇養護学校 学校運営領域)

評価者氏名〔 〕 校務分掌名〔 〕

学校教育目標		中・長期的目標
明るく たくましく より豊かに 生きていく児童生徒に育てる		1 体力・身体機能の向上と基礎基本の定着を図る 2 地域に開かれた学校を築く
重点目標	1	保護者の参画のもとでの個別の指導計画の作成と評価
	2	児童生徒のもの・人・出来事へのかかわりの拡充
	3	公開授業・教育相談等を通じた地域への発信

※評価【〔達成度〕A：十分 B：おおむねよい C：不十分】のいずれか

対象	評価項目	評価の観点	評価方法	評価	成果と課題
地域との連携	3 地域への発信	文化祭や授業参観、学校開放など教育活動を理解してもらう機会を学期ごとに設けているか。	アンケート調査		
	3 特別支援教育相談の推進	広報活動を学期に□回以上行い、○件以上の教育相談を行うことができたか。	アンケート調査、 係の反省		
研修・研究	1 個別の指導計画をもとにした授業づくりの研修	個別の指導計画をもとにした年3回の授業研修会の実施により、個に応じた指導に対する認識が深まったか。	各教職員の評価、 係の反省		

学校自己評価委員会が作成し、全教職員に4月に配布することを想定した「学校運営領域」の評価個票の例です。ここには、学校運営領域の全評価項目が掲載されていますが、各教職員は、自分が評価できるすべての欄に記入して、2月上旬までに提出します。委員会ではそれを集計し、関係の各係に配布します。係では、それをもとに、関係する評価項目を評価をし、成果と課題をまとめて委員会に提出します。

(3) 授業評価個票例（〇〇養護学校保護者用）

このアンケートは、保護者の皆様に授業を参観しての感想をお寄せいただき、より充実した授業になるよう参考にさせていただくためのものです。ご協力をお願いします。

本日の授業について、次の評価項目について、「そう思う」場合はAの欄に、「だいたいそう思う」場合はBの欄に、「あまりそう思わない」場合はCの欄に、「そう思わない」場合はDの欄に、それぞれ一つずつ〇印を付けてください。

また、その要因として考えられることがありましたら、記述してください。

	内 容	A	B	C	D	要因として考えられること
1	この単元は、お子さんの実態やこの時期の生活に合っていると思われましたか。					
2	場の状況は、お子さんが意欲的に、自ら活動できるものだと思われましたか。					
3	先生たちの話しかけ方や働きかけ方等は、お子さんにとって分かりやすいものでしたか。					
4	お子さんは、先生たちの支援を十分受けていましたか。					
5	お子さんは、時間一杯、生き生きと活動に取り組んでいましたか。					
6	担任からの「単元のねらい」「お子さんへの願い」などの説明はよく理解できましたか。					
7	この学習は、家庭生活でも生かすことができそうですか。					
8	【ご意見・ご要望をお書きください。】					

養護学校において、授業参観日に、各保護者に、児童生徒の代弁者として書いていただくことを想定した授業評価アンケートの例です。この評価表をもとに、各教員が、自らの授業について評価する資料にします。